

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	永井隆広
全体計画	令和 3年度	～	令和 3年度	経費区分	実施計画事業費		内線	3334			
事務事業名	15094 保健センター整備事業										
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課										
施 策	01010100 健康づくりの充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040104 衛生費・保健衛生費・保健センター費									
	事業	020000 保健センター整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
全ての者が、安心安全にセンターを利用できるよう施設改修を行う。						センターのリハビリルーム天井据付のエアコン4台のうち、2020年度に入り2台故障につき停止、1台も修繕が必要な状況となった。 部品供給期間が過ぎており、修繕は不可能なことから、入れ替えを行うもの。 なお、一般家庭用のようなエアコンでの代替は逆に効率が悪く、配線等も布設替える必要があり、既存方式のエアコンにするもの。 非常放送設備本機について、劣化による入替が必要となった。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
	工期：令和2年7月～令和3年1月予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		0	16,388
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	16,300
	その他	0	0
一般財源		0	88
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	726.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	726.5
市民一人当たりの経費		0.0	0.3
総額		0.0	17,114.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,098	保健センターエレベーター工事設計監理委託料
14節 工事請負費	15,290	保健センターエレベーター工事費
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	改修をしないと、今後不測の事態により部品が損傷した場合、即時復旧が困難となるだけでなく、長期停止及び利用停止となる可能性がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	現行の建築基準法に合致していない既存不適格が解消されることで安全性が向上し、お客様に安心してご利用いただける。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	既存のエレベーターを撤去・新設する方法ではなく、主要電気部分を一式更新することで、費用を抑え短期で施工できる。部品供給についても、本工事施工により20年間は供給が可能となる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

令和2年度事業

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

令和2年度事業

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

感染症予防の観点から、施設の見直しが必要。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント